

事業所名

こども発達支援 すいえる

支援プログラム

作成日

R7

年

1

月

10 日

法人（事業所）理念		人と人の想いを繋ぐ								
支援方針		できないができるに変わる ・困り感をなくす ・できる事や好きなことを見つけて伸ばす ・苦手なことを減らす								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での活動や生活を通して、基本的な生活習慣の獲得や、挨拶・意思伝達・交渉スキルなど必要な能力を伝える。 ・水遊び、夏祭り、クリスマス、クッキングなど、季節を感じられるような活動を通して、日々の生活に興味をもち、意欲的に参加できるように機会を設ける。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動（バランストレーニング・運動遊び）や微細運動（手先の運動、服の着脱などの訓練）を通して、自らの身体操作能力の向上を目指す。 ・触覚・前庭感覚など、必要な感覚機能を高めていけるよう、楽しみながら取り組める活動を提供する。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力や認知能力を高めるSTEM教材を使用し、考えて組み立てる力（プログラミング能力）や認知能力の向上を目指す。 ・認知機能を高めるゲーム性のある活動を設定し、楽しみながら考える力をつけていけるようにする。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の表出、スムーズなコミュニケーションなど言語スキルの獲得ができるよう、積極的に指導員が関わりを持ち、気持ちや思いを伝えようとする機会を保障する。 ・友達と関わりあうこと、協力して取り組むゲーム性のある活動を設けることで、おのずと人と関わりあい、関わり合える成功体験を提供する。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を通して他児と関わるができる場を数多く設け、年齢や性別に関係なく、小集団のなかでも安心してやりとりができるようサポートする。 ・相手の気持ちに思いやりをもって接することや、社会でのルールや倫理観など、人として生活していく上で大切なことを丁寧に伝える。 								
家族支援		家族背景や子どもへの思い・願いがあることを理解し、成長をする様子を丁寧に伝えていく。必要に応じて面談などで困り感を聞くことや、家でも取り組める提案をすることで安心して子どもの成長と向き合えるようにサポートする。				移行支援		成長に応じた進級や進学、学習・発達課題に対して取り組むことなど、本人に合わせたステップアップができるよう、社会資源の提案や療育を提供する。		
地域支援・地域連携		近隣の保育園・こども園・小学校などの学校・福祉機関と連携し、地域で子どもの育ちをサポートできるよう情報共有を行う。児童館や公民館など地域に根差した機関と関わりをもつことで、幅広く地域福祉への寄与を行う。				職員の質の向上		事例会議やカンファレンスを定期的に行い、共通意識と支援に必要な専門的な知識を高める。事業所内外での研修に受講できる機会を設け、自ら学ぼうとする意欲を保障する。		
主な行事等		正月遊び、水遊び、川遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など								